

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 4 月 9 日 (2020.4.9)

【公開番号】特開 2017-109097 (P2017-109097A)

【公開日】平成 29 年 6 月 22 日 (2017.6.22)

【年通号数】公開・登録公報 2017-023

【出願番号】特願 2016-242468 (P2016-242468)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 2 月 25 日 (2020.2.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技を行うことが可能な遊技機であって、

演出表示を表示可能な演出表示手段と、

動作可能であるとともに演出表示を表示可能な第 1 可動部材と、

動作可能な第 2 可動部材と、

演出を実行する演出実行手段と、を備え、

前記第 1 可動部材は、前記演出表示手段の前面側の所定位置に動作可能であり、

前記第 2 可動部材は、前記演出表示手段の前面側の特定位置に動作可能であり、

前記演出実行手段は、前記第 1 可動部材が前記所定位置に動作するとともに前記第 2 可動部材が前記特定位置に動作した状態であるときに前記演出表示手段に前記第 1 可動部材と前記第 2 可動部材の動作に対応した演出表示を実行可能である、

ことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

整列配置された複数の発光体の点灯態様により表示演出を実行する表示手段と、

前記複数の発光体が配置された領域を複数のブロックに分割し、該ブロックごとに発光体の点灯制御情報を作成する制御情報作成手段と、

前記制御情報作成手段によって作成された点灯制御情報にもとづいて前記複数の発光体の点灯制御を行う点灯制御手段とを備えた

請求項 1 記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

(手段 A) 本発明による遊技機は、遊技を行うことが可能な遊技機であって、演出表示を表示可能な演出表示手段と、動作可能であるとともに演出表示を表示可能な第 1 可動部材と、動作可能な第 2 可動部材と、演出を実行する演出実行手段と、を備え、第 1 可動部材

は、演出表示手段の前面側の所定位置に動作可能であり、第２可動部材は、演出表示手段の前面側の特定位置に動作可能であり、演出実行手段は、第１可動部材が所定位置に動作するとともに第２可動部材が特定位置に動作した状態であるときに演出表示手段に第１可動部材と第２可動部材の動作に対応した演出表示を実行可能である。

(手段１) 他の遊技機は、遊技を行うことが可能な遊技機であって、動作可能であるとともに演出表示を表示可能な第１可動部材（例えば、第１可動部材としての演出可動機構５０）と、動作可能な第２可動部材（例えば、第２可動部材４０）と、演出を実行する演出実行手段（例えば、演出制御用ＣＰＵ１２０におけるステップＳ１７０～Ｓ１７６を実行する部分）とを備え、演出実行手段は、第２可動部材の動作に対応した演出表示を第１可動部材において実行可能である（例えば、演出制御用ＣＰＵ１２０は、ステップＳ４５１Ｄを実行することにより、図２８に示すように、反時計回りに回転動作する第２可動部材４０の動作に対応して、複数のラインが反時計回り方向（右方から左方）に流れ星のように流れるような表示演出を第１可動部材上に表示する）ことを特徴とする。そのような構成によれば、可動部材の動作に対応した演出の実行を可能とし、可動部材を用いた演出の演出効果を向上させることができる。